



照明探偵団通信

vol. 105 Shomei Tanteidan Tsu-shin

照明探偵団リモートサロン

自宅から 100 M 範囲の照明
2020.05.19
東悟子

コロナの影響で街歩きを延期せざるをえない状況下、オンラインでのサロンを開催。
25名の参加者と自宅から100M圏内の照明について報告しあいました。

コロナ感染拡大の影響で4月に緊急事態宣言が出され、外出自粛が長期で継続する中、探偵団でも5月中旬に予定されていた街歩きが中止になりました。外出できない期間、巷では様々な趣向を凝らしたオンラインイベントが開催され、今までとは全く違う活動を考えなくてはならない状況に置かれました。

活動の主体をフィールドワークとしている探偵団にとって、外に出かけずオンラインで活動するというのは、目的に反しているのではないかという意見もありましたが、先行きが見えない中、何もせず活動を停滞させてしまうのも不本意とのことで、街歩き企画メンバー（SQUAD）とも話し合い、オンラインサロンを開催することとなりました。

テーマは家からあまり出なくても観察できる“家から100M内の光環境”としました。どれくらいの方が話題を提供してくれるか心配でしたが、まずは試しにやってみることに。私達の心配をよそに、サロン参加者25名、全員が何かしら話すネタを持って参加され、会終了後に「自分ももっとネタがあった」とつぶやかれている方もいるほどでした。

サロンには東京、京都、滋賀、名古屋、横浜、千葉、仙台、遠くはオランダから参加があり、オンラインの恩恵を受け、ボーダレスな買いとなりました。

まずはコロナ禍で直面している状況説明などを交えながらの自己紹介からスタート。外出自粛中に会社が親会社に統合され、自分は自宅で動かないのに、環境だけがガラッと変わってしまった方がいたり、ほとんどコロナの影響なく、通常通り出勤している方もいたり、100%リモートワークで運動不足になっている方がいたり状況は様々ようでしたが、久しぶりに顔を見ながら話ができる機会が貴重でした。

サロンテーマの「自宅から100Mの光環境」の発表でよく上がったキーワードは、まぶしさ（グレア）、色温度、カラーライティング。

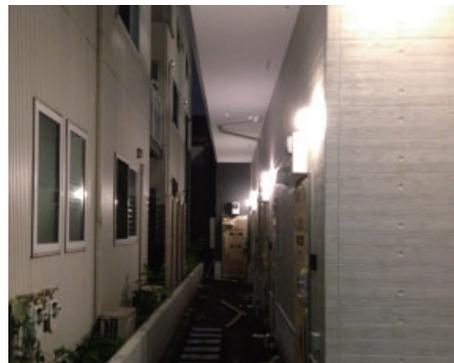
一番よく聞かれたのはLED防犯灯や水銀灯が放つ眩しく白っぽい光が嫌だという声。この意見は街を問わず多く聞かれました。球切れや、暗いという苦情が出ると、LEDの防犯灯が取り付けられとても眩しくなってしまう、賃貸マ



探偵団初の ZOOM サロン 25 名の方々に参加いただき2時間のディスカッションをおこないました



光の家宅侵入罪！



マンション通路の光が対面マンションの壁面を眩しく照らす

ンションを建てる時に、周辺環境に配慮せず、共用部などに白くて眩しい照明を使用し、残念という意見、あまりにまぶしくクレームを入れたら、カバーで対応し、まぶしさが軽減したという報告もありました。マンションの照明と街灯のちぐはぐさが気になるので、周りとの調和が大切といわれる方もいました。面出国長は家の前の公園の街灯を「光の家宅侵入罪だ！」と糾弾していました。

色温度の話題では、街路灯は温かみのある電球色にするだけで、落ち着くと言われる方がいる一方で、高い色温度でも場所によっては英雄になりうるという意見を挙げたメンバーも。西荻窪を例に出し、日中に太陽が障子を通して部屋に入ってくる白い拡散光がとても好きで、色温度の高い光を放つ街灯が街によってはとても素



球切れするとLEDへと交換され、さらにまぶしくなる傾向に

敵だと発表されていました。街がすぐ持っている
 敵またはアピールしたいイメージに合わせた光
 環境づくりが大事なのだと思いました。

周りの環境を壊している照明として街灯以外に
 上げられたのが、木などのアップライトや往来
 を照らす為に、住宅に取り付けられたスポット
 ライトの過剰な照明。木をちょっと照らすは
 必要以上の照度のため、マンション10階の
 ベランダの庇まで照らされており、無駄な光が
 空まであがり光害になってしまっている状況が
 報告されました。

カラーライティングの話題では、目立つ建物が
 なかった駅前に突然チェーンのホテルが建ち、
 そのサインの青で、駅前が青一色になってしま
 ったという事例が紹介されました。
 また街のアイコンをライトアップするのはあり
 かなしかという議論も。東京タワーのようにひ
 とつであればいいが、紹介された仙山の住宅街
 に何本も建つ鉄塔は、一つおきに青くライトア
 ヱップされていて、うるさくなってしまってい
 るのが残念とのことでした。

医療従事者への感謝の意を表す青いライトア
 ヱップが各地で行われており、サロンでも京都タ
 ワーやレインボーブリッジが紹介されましたが、
 比較的好印象を持つ人が多かったように思いま
 す。

コロナで在宅時間や散歩をする時間が長くなり、
 改めて気づくことがあったという声もありま
 した。その中で、バブル時代に建った高層マン
 ションのランドスケープの照明はとても暗く、足
 元もよく見えないけれども、その暗さが心地よ
 く、今建てるマンションでは実現できないこの暗
 い環境が好き、という意見もありました。
 また以前に比べて住宅から漏れてくるあかりの
 色温度が低くなってきた印象があるという声も。
 その他、時間により自宅の窓からの光の入り方
 が違うのが面白く、建築を見るのに時間の変化
 で見るというのも面白いという気づきがあった
 という学生も。

コロナ禍で在宅者が多いため、夜早い時間帯
 から住宅のあかりがたくさんつくようになった
 という発見もありました。紹介された写真では大
 きなマンションのあかりがほとんどついており
 驚きでした。

現状の報告だけでなく、在宅時間が長くなって
 改めて気づかされたこと、コロナになってから
 の変化など、様々なトピックが交わされ、また
 自宅からの参加ということでリラックスした環
 境だったためか、あっという間の2時間でした。
 何らかの結論ができるような会ではありません
 でしたが、各地の住宅街の光環境を知ることが
 できて、有意義な会になったのではないかと思
 います。

今年で創設30年を迎えた照明探偵団ですが、こ
 の状況下で歩みを止めることなく活動を続けて
 いきたいと思えます。またテーマを変えてのサ
 ロン開催を予定しておりますので、是非お気軽
 にご参加ください。
 (東悟子)



高い色温度の街路灯が映える通り



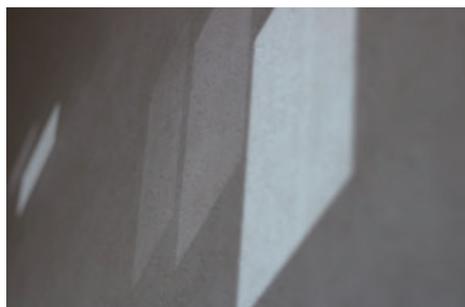
駅前に立ったホテルのサインが当たり一帯を青に染めている



木を照らす照明がマンションの壁面も照らしてしまっている



19:30頃の関西の某住宅街 ほとんどのマンションにあかりがともっている 色温度も暖かな家が多い



在宅時間が増え、自宅に差し込んでくる屋光がきになるように 部屋の印象が刻々と変わる



暗いが心地の良い高層マンション



青くライトアップされた鉄塔が住宅街に連なる

English Remote Talk Event

Lighting At Home / Neighbourhood

2020.07.19

Sherri Goh

The first ever english virtual meeting for Lighting Detectives was held amidst the worldwide pandemic of the Coronavirus 19 that saw many countries in lockdown and members working from home.

This was open to our current members only and we had an attendance of 21 people from China, Chile, Hong Kong, Japan, Netherlands, Singapore, Taiwan, Thailand and the USA. The time difference had people call in from work, bed, car, home and various social situations.

As the theme was "Lighting at Home/ Neighbourhood", we called on our community to share pictures of their situations faced in quarantine or working from home. Submissions were received even from core members who were not able to attend the event itself.

With minimal technical glitches at the beginning, we kickstarted the event with a welcome note from Kaoru Mende that contained more pictures of his daily commute in Tokyo followed by self-introductions from everyone.

The picture presentation began with a submission from Ignacio Valero of a pair of surgical masks, titled "Lockdown Kisses" captioned with "the idea that love will always find a way to express itself no matter what".

We had night views of Budapest, Hungary and Eskiltuna, Sweden at night were shared from member Chiara Carucci. Stunning views of daytime, sunset and Catalina mountains on fire were shared by Charles Stone. Various home-office set-ups and tools were discussed, as well as urban cityscapes and nighttime street lighting environment across the globe. An amazing picture of a moonlit temple in Japan was also shared by Honma Mutsuo. The session concluded with a short motion picture (gif) from Aleksandra Stratimirovic of "Liquid Gold" that was made with the reflection of the sun onto the river water.

We had a lot of positive responses in our post-talk survey and many new topics suggested for future sessions. The diverse range of pictures made the sharing very thought-provoking and insightful. It was a successful first session and we would like to thank everyone for participating!

(Sherri Goh)

Connecting with members from all over the world without leaving our seats. We review daily lockdown scenes of our homes.



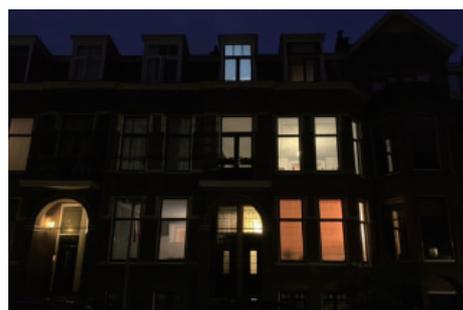
Participants in the online event



Fires in the Santa Catalina Mountains from Charles Stone



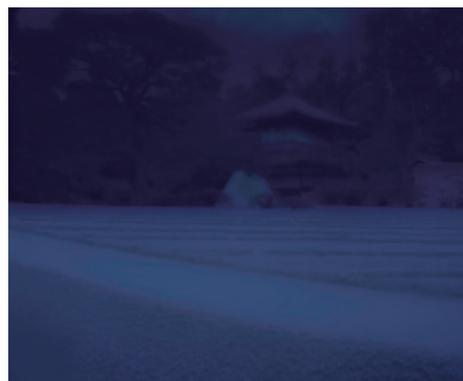
Home workstation from Howie Ruan



Residential facade in Netherlands from Marie Kondo



Reflection of sun on river from Aleksandra Stratimirovic



Moonlit temple in winter from Honma Mutsuo

【照明探偵団の活動は以下の 20 社にご協賛頂いております。】

ルートロンアスカ株式会社
ウシオライティング株式会社
岩崎電気株式会社
カラーキネティクス・ジャパン株式会社
株式会社ルーメンジャパン
株式会社遠藤照明
パナソニック株式会社
ERCO / ライトアンドリヒト株式会社
大光電機株式会社
株式会社 Modulex
コイズミ照明株式会社
株式会社 YAMAGIWA
東芝ライテック株式会社
マーチンプロフェッショナルジャパン株式会社
トキ・コーポレーション株式会社
湘南工作販売株式会社
山田照明株式会社
ルイスポールセン ジャパン株式会社
DN ライティング株式会社
三菱電機照明株式会社



探偵団通信に関してのご意見・ご感想等随時受付中です！

お気軽に事務局までご連絡ください。